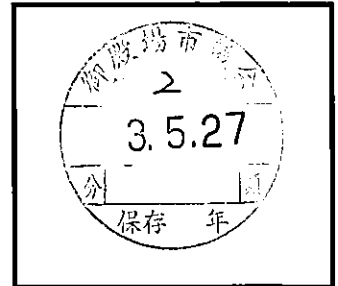


発 言 通 告 書

次のとおり発言の通告をいたします。
令和 3年 5月27日



御殿場市議会議長 様

御殿場市議会議員 3番 勝又 英博

8 時 43 分

発言の種別 代表質問 一般質問 一括質問 一括答弁方式 一問一答方式 ※ 選択制

質問事項1 本市の循環型財政、新しい財源の可能性と実現性について

具体的内容 総務省の「自治体戦略2040構想」と題する報告を読むと、地域社会で独自の新しい歳入増加を考える必要があるように思われる。アフターコロナを想定して、ふるさと納税だけでなく、環境先進都市の実現を目指す本市独自の税新設を検討してはどうか、以下伺う。

質問

- 1 企業版ふるさと納税を目的税として更に強化を図る方針を伺う。
- 2 環境先進都市の実現に向けた税を新設する可能性について伺う。
- 3 公民連携（PPP）で増税あるいは節税が図れないかを伺う。
- 4 本市の循環型財政の可能性を伺う。

発言の種別 代表質問 一般質問 一括質問 一括答弁方式 一問一答方式 ※ 選択制

質問事項2 本市の地域共生社会の在り方を問う

具体的内容 本市は、早くから地域福祉計画を実施してきた。厚労省が勧める社会福祉の将来のモデルとして「地域共生社会」がある。社会福祉だけでなく、地域の社会問題等の解決を将来の共生社会でどう実現するかを伺う。

質問

- 1 社会福祉協議会・地域包括支援センターとの連携の状況を問う。
- 2 本市における相談・支援体制の状況を問う。
- 3 地域共生社会をどう実現するかを問う。